

# 平成27年度 第1期 事業報告書

しあわせ Labo

I. 事業期間 平成27年7月1日～平成28年6月30日

## II. 事業の成果

事業計画書の予定通り、セミナーの開催とホームページでの情報提供を行った。

その結果、プロポーズを成功させた方が1人、成婚に至りそうな方が2名いる。結婚相談所への入会を迷っていた方も2名が入会された。セミナーで自分について知り、自信をつけ、コミュニケーションの練習をし、仲間と励ましあい、また、個別にプロフィールの書き方の指導、お見合い時の服装チェック、デート内容の相談などを行うことで、それぞれが手ごたえを感じながら前進している。

ホームページでの情報提供は、婚活中の人からよく寄せられる疑問や嘆きに対する解決策を具体的に提示した。また、全国の地方公共団体の婚活情報一覧を載せたが、情報量は日本一である。その他コンテンツでも婚活や結婚に近づく情報を多く載せた。

## III. 事業の実施状況

### A. 講座開催事業

1.

【事業名】結婚相手の探し方教えます

【実施内容】九州大学の人気ゼミ「婚学」創始者、佐藤助教のワークショップ

【実施日時】11/14（土） 10:30～12:00

【実施場所】東海市芸術劇場 中練習室1

【講師】九州大学助教 佐藤剛史氏

【参加者数】男性6名 女性4名 計10名

【収入】9,000円（内訳：参加費1,000円/人）

【支出】85,769円

（内訳 講師謝金・宿泊費 60,731円 講師打合せ 16,548円  
施設利用料 4,650円 交通費 3,840円）

2.

【事業名】あなたの魅力再発見！婚活作戦会議☆ season1

【実施内容】ゼミ形式の講義でコミュニケーション能力を向上させる。

自分の魅力に気づき、自信をつけることで、結果が出るようサポートする

【実施日】 4/23（土）～ 9/17（土）全12回 土曜夜  
(4/23・5/7・5/14・5/28・6/4・6/18)  
(7月以降の予定：7/2・7/9・7/23・8/13・8/27・9/17)

【実施時間】 18:00～21:00

【実施場所】 名古屋市西生涯学習センター

【講師】 浦田健吾氏 ・ 外村直人氏

【参加者数】

	4/23	5/7	5/14	5/28	6/4	6/18
男性	8	5	7	5	7	7
女性	2	3	2	2	2	2
計	10	8	9	7	9	9

【収入】 92,000 円 （内訳：参加費 2,000 円/人 × 述べ 46 人）

【支出】 286,393 円 内訳は収支決算報告書参照

## B. ホームページでの情報提供

### 【履歴概要】

2015. 07. 14 ホームページプロバイダ契約  
2015. 08 情報提供開始  
2015. 09 「結婚相手の探し方教えます」受講生募集開始  
2016. 01. 22 ドメイン取得  
2016. 02. 07 ブログ開始  
2016. 03. 08 「あなたの魅力再発見！婚活作戦会議☆season1」受講生募集開始  
2016. 05. 22 ホームページリニューアル  
2016. 06. 01 Facebook 開始  
2016. 06. 22 「出会いの情報」公開

【収入】 0 円

【支出】 12,590 円 （内訳：プロバイダ年間契約 11,340 円 技術講習 1,250 円）

## IV・名古屋市男女平等参画推進センター（イーブルなごや）市民企画公募事業の審査通過

### 次年度実施決定

【実施日時】 12/3・12/10・12/17（土）全3回 19:00～20:30

【講座名】「コミュニケーションに活かせる個性心理学講座」

【講師】 外村直人氏

## V・活動報告

### A-1. 【結婚相手の探し方教えます】について

#### <講師の選択理由>

愛知県図書館蔵書の婚活関連の書籍に、佐藤氏の本を見つける。佐藤氏は大学で結婚をテーマにしたゼミを開講しており、結婚をリアルに考えさせることに成功していた。未婚者にとって、結婚をリアルにイメージすることは難しい。今後開講予定のプログラムの内容の参考に役立つと思った

#### <ワークショップ前日勉強会>

ワークショップの前日に愛知県入りすることが決まっていたので、食事を兼ねて今後の運営の相談に乗って頂く。全国の婚活イベントの実施状況、未婚者の婚活の状況、未婚者を支援する支援側の状況等お話いただく。

#### <ワークショップ>

時間は90分と短かったが、参加者が10人と少数であったこと、講師が全力でワークショップを開催してくださった為、参加者ひとりひとりに向き合った中身の濃いワークショップが開催出来た。

### A-2. 【あなたの魅力再発見！婚活作戦会議☆ season1】について

#### <プログラム>

#### 第1回 テーマ<自分の価値観と幸せについて>

自己紹介／返報性の法則

パートナー選びのための条件の掘り下げ／SVR理論

#### 第2回 テーマ<自分を整える>

ブレインジム／宿題についてのディスカッション／（以降毎回実施）

自分を良い状態に保つ必要性和方法。

自分の魅力をプレゼン。結果をみんなでシェア。

#### 第3回 テーマ<大相談会>

メラビアンの法則／異性から好かれるタイプ／プロフィールシートの書き方

#### 第4回 テーマ<よく遊びよく学ぶ>

出会いの場、親密になるプロセスについての復習／

輪になってキャッチボール、目隠しゲーム、褒めあっこの3つのゲームを通し、

コミュニケーションのコツや自分の日頃のものの見方について学ぶ/  
婚活ファッションチェックや個別相談

#### 第5回 テーマ＜今後必要なもの＞

今後この活動を必要な人に届けるためにどのように広報していくか/  
今後何がしたいか、どのようなサポートが欲しいか

#### 第6回 テーマ＜すぐに使える基礎知識＞

異性の人と近くなるコミュニケーションの取り方/  
感情を理解し上手に伝えるスキル/ 自分の提供できるもの  
特別授業 人間力の強化

6月末で全12回のうちのちょうど半分が過ぎた。内容は想定より、個々の課題解決の時間がかかり多くなった。初めから参加者のリクエストに応じ変更予定であったが、割的にこちらが多くなった印象。少数なので、これはこれで良いのかもしれない。

参加者からもっと色々リクエストが出るかと思ったが、大した意見もなく、静かに進行していくことが多かった。後半になってやっと本音が出てきた回も出てきたが、本来そうあるべきである。個々人の課題に真剣に向き合うなら、おとなしく受身で講義を聞いている場合ではない。講義を受けて知識だけ得ても、使えなければ意味がない。これは元々の婚活中の方々に多く見られる受身の性格に加え、自身の課題が分かっていないことが原因ではないかと考える。次期は自分の課題が分かるようなプログラムなり仕掛けをしていくことにする。

#### ＜広報・集客について＞

あらゆる手を尽くしたが、広報の手段がほぼ「あいこんナビ」に限定されたのは残念だった。愛知県の主催する「あいこんナビ」自体、知名度が低く、知らない人が圧倒的に多い。

##### ・チラシ配架実績

(名古屋市内の) スポーツセンター、生涯学習センター、名古屋市市民活動推進センター、ウィルあいち、美容院、喫茶店、その他友人・知人

→県、もしくは市の施設に配架するには各教育委員会の後援が必須。お願いするも断られる。理由は参加費を徴収することと、実績がないこと。役に立たない。後に、別ルートでスポーツセンター・生涯学習センターにおいてもらうことに成功するが、公共交通機関を使い1件づつお願いするのはマンパワーがなかったので、大変であった。労力の割には成果が少ないので、次回以降はこの方法は検討する。

##### ・マスコミの訪問

新聞社5社、テレビ局4社にプレスリリースを配信する。新聞社は3回のうち2回は手渡しでお願いするが、成果なし。1番の理由は「婚活など、珍しくもない (by 大手地方新

聞社)」からだそうで、正直、一番読みが外れた部分である。マスコミに限らず、「婚活」と言った途端に、他の営利企業や団体と同じとひとくくりにされ、話を聞いてもらえず拒絶反応を示される。必要としている人はたくさんいるのに届かないのは残念でならない。今後は見せ方の工夫が必要である。

#### ・名古屋市内の企業訪問

おもに西区内の企業を訪問する。会場が講師都合で西生涯学習センターになったこと、また主催者も西区在住だったため、会場付近の企業やお店を中心に回ることにする。某大手ショッピングセンターの店長のご厚意で、期間限定でチラシを貼っていただけたこともあった。アポなしの突然の訪問に怪しまれることもあった。あいこんなびの婚活協力団体に連絡するも、どこからも返事を頂けない。社会貢献活動の活発な企業から一緒に始めようと情報を探し、商工会議所なども訪問するが、丁重に断られる。

#### ・女性参加者について

始めてみると、参加希望者はほぼ男性だった。聞き取り調査をしたところ、女性は婚活に関して、自分にコミュニケーションの問題があるとは全く思っていないようで、「男がダメだ」と思っているようである。とはいえ、女性とのコミュニケーションを期待して来られている参加者もいるので、広報の一環として、名古屋市男女平等参画推進センター・女性会館の市民企画公募事業に応募する。審査を通過し、次年度講座開催の運びとなった。

#### <1年間事業を終えてみて>

参加者が想定外におとなしい。みなさん非常に熱心に講義を聞き、課題にも取り組まれるが、全体的に静かな印象。これまで主催者は様々なボランティアやサークル活動に参加してきたが、この静けさは初めてである。

内面を育てることをしているのでそうなるのか、男性が多いからなのか、参加者がみな真面目だからなのか、恋愛と同じでどう動いたらよいかわからないのか、考えられることはいろいろあるが、当初心配したような問題行動で周囲を困らせるような参加者は全くいなかった。

講座で学ぶことも必要だが、実体験で経験を重ねることも重要で、そのために参加者自ら学ぶ機会を作るためイベントを企画してもらっている。話し合いは静かで進行度合いはゆっくりである。それぞれ考えてはいるが、考え過ぎて発言出来ないでいる印象。話しやすく優しい雰囲気をどう作るかを常に配慮しているので、発言しにくいということはないと思う。ペースは遅くても、参加者の主体性を尊重し見守る方向でいく。

そういえば、見学に行った静岡のNPOでも、主催者がひとりで頑張って指示を飛ばしていたことを思い出した。参加者は皆寡黙であった。

しかし、それでは目指した方向と異なる。設立時に目指したのは当事者主体の課題解決

型ボランティア団体であった。主催者が表に出て引っ張っていくようでは、課題解決に結びつくどころか、自発性をそぎ、学びの機会を奪うことになる。人によってはこれまで通りの受身の指示待ちの行動パターンを繰り返すだけになる。自分で考えて行動出来るようにならなければ対人関係はうまく築けない。

講師はカウンセリングベースの優しい雰囲気があり、優しい場の提供と言う面では成功しているが、問題もあり、優しい雰囲気では結果が出るまで時間がかかりすぎてしまう。半年では種をまき、芽が出るまでで終わってしまう。結果を出すことが参加者のための第一の利益と考えるなら、厳しい婚活戦線で戦える、即効性のあるプログラムなり厳しいアドバイスを考えたいと思う。

またどこまで世話を焼くかも判断が難しい。客観的に見て（これでは厳しいな）と思った様子をどこまで本人に伝えるか、常に悩んだ。大抵言いにくい厳しい話になるので、伝え方に気を付けても、傷ついたり気分を害する恐れがある。そんなことを言われたくない人もいだろう。嫌になって来られなくなってしまうかもしれない。しかし、伝えて欲しい人もいだろうし、長い目で見れば伝えた方が親切かもしれないし、難しい。現状では毎回全体で、あるいはアンケートでそれぞれ要望をヒアリングしているが、今後は個別に時間を取り、要望をヒアリングし、それに沿った形でお世話させてもらう方針にする。

ある一定以上の年齢での婚活は結構厳しくて（もちろんその人によるけれど）、存在を否定され続けているかのように感じる連続になることも。既に婚活を頑張っている人の安らぎの場を提供出来れば良いと思うが、ただの慣れあいや傷の舐めあいみたいな場になってはいけなし、あくまで結果が出るような場でありたい。厳しいことも必要である。その割合が難しい。せっかく参加されているのだし、少しでも結果が出て欲しい。大きなジレンマで、今後も悩み続けると思う。

講座を通し、参加者の求めるものが更に具体的に分かってきたので、今後は結果が出るよう努力していく。とても難しいことをしているが、出来得るかぎりのことはして差し上げたい。そして個人も団体も互いに助け合えるように成長していけたら、とても嬉しい。

平成 28 年 8 月 8 日